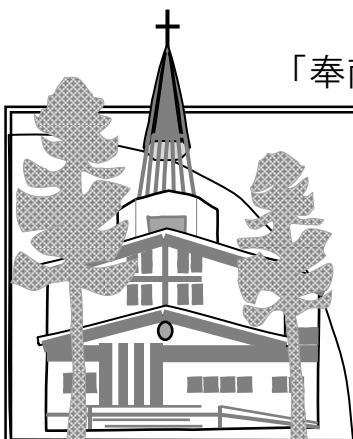


「奉献生活の年」



週報

カトリック 園田教会

B年

2015年
7月12日(日)

No. 1960



年間第15主日

ミサ 9:00 ショヴァン二神父

今日の聖歌と祈り

- 入祭の歌 : 典礼聖歌 65 神は わたし を救われる
答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください
アレルヤ唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください
奉納の歌 : 典礼聖歌 395 主よ わたしが悩むとき
主の祈り : プリント 主の祈り
拝領の歌 : プリント アーメン ハレルヤ
皆で唱える祈り : カード又はプリント
新生計画20年の祈り・新生の祈り
閉祭の歌 : 典礼聖歌 408 行け 地のはてまで

今日の典礼奉仕者

先唱	本田
聖体奉仕	Sr. 北浜
第1朗読者	池田(壮)
第2朗読者	上村
共同祈願・意向担当者	① 山下(壮) ② 平田 ③ 谷井 ④ 谷井
奉納と献金	総務委員会
典礼当番	佐藤、市瀬
オルガン奉仕者	石垣、アン

今日の行事・他

- ・定例評議会
- ・日曜学校(信仰教育)
- ・サン・ジュゼッペ聖歌隊の練習(ミサ後)
- ・お泊り会保護者説明会(11:00～)
- ・阪神地区宣教評議会(夙川教会 14:00～)

お知らせ

- ・日本カトリック協議会よりの
小冊子「ユスト高山右近 ～その生涯と霊性～」
をロビーに置いてあります。お持ち帰りください。

〔靈的読書(レクチオ・デイヴィナ)〕

みことばを通して主が言わんとすることに耳を傾け、聖霊によって造り変えてもらうための具体的な方法があります。それは靈的読書と呼ばれるものです。これは、わたしたちがみことばに照らされ新たにされるための祈りの時間の中で、神のことばを読むことです。……

神の前で、テキストをリラックスして読み、たとえば次のように尋ねてみるのはよいことです。「主よ、このテキストはわたしに何を語っているのですか。そのメッセージによって、わたしの生活の何を変えようとなさっているのですか。このテキストの何がわたしを煩わせるのでしょうか。どうしてここに興味をもてないのでしょうか」。あるいは、「なぜわたしはこのテキストが気に入ったのだろう。このみことばの、何がわたしを駆り立てるのだろう。何がわたしを引き付けるのだろう。何故引き付けられるのだろう」。

主に耳を傾けようとする、しばしば誘惑に駆られます。まず、単純にイライラしたり、たまらなくなったり、耳を閉ざしたくなったりすることです。また、だれもが身に覚えのある誘惑は、そのテキストが示すのはほかの人のことだと考え、自分の生活にあてはめようとしなないというものです。またこういうことも起こります。テキストに特有のメッセージを骨抜きにしてしまうための口実を見つけることです。場合によっては、神から求められる決断があまりにも大きく感じられ、今の自分には受け止めきれないと思ってしまうこともあります。そのために、多くの人はみことばに出会うよろこびを失ってしまうのです。それは、父なる神よりも忍耐強いかたはなく、神よりも理解してくださり、待っていてくださるかたはないということを忘れてしまうことです。神はわたしたちを一步先へ導こうといつも待っていてくださいます。けれどもわたしたちの準備ができていないのに、完全な答えを求めたりはしません。神は、わたしたちが誠実に自分の生活を見つめ、ありのままの姿を誠実にご自分に差し出すよう求めておられるだけです。そして、もっと成長したいと願い、私たち自身がまだ手にしていないものを神に求めるようにと望んでおられるのです。

(「福音の喜び」教皇フランシスコ から)



今週の暦

7月13日(月) 集会祭儀 6:30～

7月14日(火) ミサ 6:30～ ボナツィ神父

7月15日(水) 《記》聖ボナベントウラ司教教会博士
「教区司祭評議会10:30～」
ミサ 6:30～ ボナツィ神父

7月16日(木) ミサ 6:30～ ボナツィ神父

7月17日(金) ミサ 6:30～ 永富神父

7月18日(土) ミサ 6:30～ ボナツィ神父
・入門講座(9:00～10:00)
・教会清掃(聖ヨゼフ会)

7月19日(日) 年間第16主日
ミサ・聖体礼拝 9:00 ボナツィ神父

- ・共同体の日
- ・日曜学校(信仰教育)
- ・助祭叙階式:グエン・シン・サック神学生
(大阪梅田教会サクラファミリア 14:00～)

